



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／山岸邦太郎
- 副会長／濱 毅・守屋麻里
- 幹事／笠原新太郎
- R 情報(会報)委員長／小口国之

■ 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939

URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp

■ 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2960 回例会 2022 年（令和 4 年）3 月 22 日(火)

点 鐘：山岸邦太郎

司 会：小宮山英利

斉 唱：なし

※短縮例会  
(会食なし)

2月  
誕生祝



3月  
誕生祝



### 会長挨拶

皆さん、こんにちは、挨拶の前に本日のお客様をご紹介します。

初めに、岡谷市地域おこし協力隊 佐々木千玲様、同じく 橋口 とも子様、次に 岡谷市ブランド推進室室長 日岐 充利様、同じく 岡谷市ブランド推進室主事 大島 俊輔様です。後ほど卓話をお願いしてありますので、よろしくお願いいたします。

本日は久しぶりのリアル例会ですが、いまだ長野県のコロナウイルス感染警戒レベルが諏訪圏域では5となっていますので、リアルかハイブリッドか迷いましたが、久しぶりにリアルで皆さんが顔を合わせての例会にした方がいいかなと思いリアル例会としました。しかしレベル5となっていますので、食事はお弁当の持ち帰りとさせていただき短縮例会とします。よろしくお願いいたします。

3月6日に長野県では蔓延防止等重点措置が解除され、昨日21日には残りの各県でも全面解除となりました。しかしながら感染者数は高止まりとなっており、引き続きの感染対策の徹底が必要な状況かと思えます。諏訪地方では来月は御柱祭の山出し、5月には里曳きがありますが、山出しは残念ながらトレーラーによる運搬となりました。これも新型コロナウイルス感染症拡大の影響で氏子の安全を優先して運搬での山出しとなり、異例の御柱祭となりますが、里曳はコロナも落ち着いて、多くの人が参加でき楽しい里曳になればいいなと思えます。

そして、日に日に犠牲者が増えているロシアによるウクライナへの侵攻ですが、一般人の犠牲も多くでており、ニュース等での映像を見ていると、本当に心が痛みます。



現在、世界の各国や各種団体等でウクライナへの支援が広がっています。ロータリークラブ第2600地区でもウクライナへの支援を行う事になりました。我々が出来る事は、ごく限られた事になってしまいますが、一日も早い平和的解決を祈り、岡谷クラブでも支援金の協力をしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

本日は短縮例会となりますが、よろしくお願いいたします。

## 幹事報告

- ・次週 29 日も短縮例会です。今井岡谷市長の卓話を予定しています。
- ・地区大会を 5 月 21 日、22 日で開催いたします。一年で一番大きなロータリークラブの大会となります。今年度は諏訪湖 RC が主管をしており、茅野 RC より桑澤ガバナーが輩出されております。会場も地元カノラホールとなりますので、ぜひ多くの皆様のご参加をお願いいたします。しかしコロナの感染レベルによってはリモート開催となる場合もあります。不透明ではありますがよろしくお願いいたします。



### 卓話「岡谷シルクと地域おこし協力隊の活動について」

岡谷市地域おこし協力隊 佐々木 千玲 様  
橋口 とも子 様

皆さん、こんにちは。本日は、今年で3年目となる「岡谷シルク推進事業」についてお話させていただきます。

**岡谷市と岡谷シルク**

日本一の生糸の生産地として、海外からは「シルク岡谷」、国内では「糸都岡谷」として世界にその名を馳せ、発展してきました。

工女さんによる繰糸：自分で回して糸を取る4条繰り座繰機（大正期）

**地域おこし協力隊とは・・・**

- 制度概要  
都市部から地方に**住民票を移動**し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊」として委嘱します。隊員は地域に居住して、地域ブランドや地場産業の開発・販売・PR等の「**地域協力活動**」を行いながら、その地域への**定住・定着を図る**。
- 活動期間  
概ね1年以上3年以下
- 財政支援  
活動に要する経費：隊員1人あたり400万円 → **特別交付税措置**

**岡谷市地域おこし協力隊について**

○採用の目的

岡谷市内で生産

養蚕 → 製糸 → 製品化 → 岡谷ブランドの核となる「岡谷産のシルク製品」

※協力隊員と行政が手を取り合って、民間主導型で地域内経済が循環するような取組みを目指す。  
協力隊員は、各々の課題解決に当たる。

**岡谷市地域おこし協力隊について**

○岡谷市の状況と課題

養蚕	製糸	製品化
岡谷市内の養蚕農家 1軒	岡谷市内の製糸工場 1軒 ※国内で4軒	岡谷シルクの染織工房 1軒
<ul style="list-style-type: none"> <li>■課題</li> <li>・島国の確保</li> <li>・飼育技術の向上</li> <li>・飼育数の増加</li> <li>・経営基盤の安定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課題</li> <li>・高齢化</li> <li>・飼育技術の向上</li> <li>・国産確保の不安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課題</li> <li>・後継者不足</li> <li>・高齢化</li> <li>・デザイン性</li> </ul>

日本の伝統文化を受け継ぐ貴重な財産

## 岡谷市地域おこし協力隊について

2019年4月1日より第1期として2名採用

### ○業務の概要

・養蚕農家と協力して養蚕の振興に関すること  
担当：橋口と母子



・岡谷シルクのブランディング、製品化、情報発信  
担当：佐々木千玲

2022年3月31日で卒業

4

## 岡谷市地域おこし協力隊の活動指針

### 新しいシルク文化が生まれるまちへ。

養蚕から製品化まで、オール岡谷産のシルク製品開発と新たなシルク体験の創造を目指します。



5

## 岡谷市地域おこし協力隊の活動



養蚕

6

## 岡谷市地域おこし協力隊の活動



### 岡谷市内で養蚕復活！

岡谷市内で約30年前に途絶えた養蚕が、岡谷市川岸の三沢区民農園で復活しました。約10年前から復活計画が始まり、2020年に本格始動。

7

## 岡谷市地域おこし協力隊の活動



蚕室:38坪 + 貯桑場(3坪) 桑園:川岸3反・箕輪3反 + 新苗定植1.5反

2020年

春蚕・6万頭飼育 繭112kg出荷

秋蚕・6万頭飼育 繭125kg出荷

2021年

春蚕・3万頭飼育 繭62kg出荷

秋蚕・6万頭飼育 繭113kg出荷

2022年予定  
12万頭飼育・繭出荷  
250kgを目指す

8

## 岡谷市地域おこし協力隊の活動



### 養蚕体験

担い手育成事業  
市役所職員研修

9

## 岡谷市地域おこし協力隊の活動

### 三沢区民農園婦人部勉強会

昔から、養蚕農家では出荷できない繭(中繭)を利用していました。カイコ飼育を手伝うお母さんたちと、真綿小物作りでカイコの命からいただく温かさを共有。



10

## 岡谷市地域おこし協力隊の活動

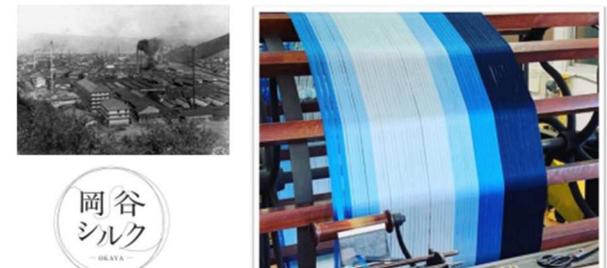


ブランディング

11

「岡谷シルク」ブランド化

【活動指針】新しいシルク文化が生まれるまちへ



「岡谷シルク」のブランド化

オール岡谷産のシルク製品開発

14

「岡谷シルク」ブランド化

「岡谷シルク」ブランド化にあたっての3つの指針を決定

- 1 未来に向けて誇りをつくる
- 2 地域全体の価値を兼ねてコーディネートする
- 3 シルクを使ってくれる（体感してくれる）お客様に幸せなシーン（世界観）を見せる



15

「岡谷シルク」ブランドコンセプト

「岡谷シルク」の定義

◆ 地域の誇り（ものづくりの精神・ひとづくりの精神）を継承し、「岡谷でしか体験・体感できない価値（商品・サービス）」を提供。

岡谷シルク 美しいものづくり × 美しい人づくり

ものづくりの精神	ひとづくりの精神
シルクでものづくり（商品）	シルクを教育に活かす（サービス）
	

16

「岡谷シルク」推進事業

岡谷シルク推進事業は3つの事業で構成

- ①シルクを通じた地域ブランド向上事業
- ②市内養蚕振興事業
- ③シルクの担い手育成と商品等の高付加価値化事業



17

「岡谷シルク」推進事業

地方創生推進交付金事業として令和3年度からスタート！岡谷シルクブランド協議会の立ち上げ 岡谷市の地域資源シルクを活かしたまちづくり、産業振興、交流人口、関係人口の創出、および移住定住の促進を官民連携で取り組む。

<p><b>教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岡谷系博物館を中心とした教育プログラムの開発・提供</li> <li>アーティスト・イン・レジデンス事業</li> <li>岡谷市内の5つの文化施設が連携したプログラムの開発</li> </ul>	<p><b>官民連携の組織体</b></p> <p>「岡谷シルク」ブランド協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新宮製糸所</li> <li>峰澤製糸所</li> <li>三沢区民農業</li> <li>岡谷絹工房</li> <li>八十二銀行</li> <li>諏訪信用金庫</li> <li>（一財）長野県発明協会</li> <li>岡谷商工会議所</li> <li>岡谷市教育委員会</li> <li>岡谷市</li> <li>&lt;事務局&gt; ブランド推進室</li> <li>&lt;オブザーバー&gt; 商業観光課</li> <li>農林水産課</li> </ul>
<p><b>体験</b></p> <p><b>イベント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滞在型ワークショップ（機織り体験）</li> <li>養蚕体験</li> <li>まちあるき</li> </ul>	
<p><b>養蚕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岡谷産絹買取事業</li> <li>桑園整備事業</li> </ul>	
<p><b>製品</b></p> <p><b>展示会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オール岡谷産シルクを活用した製品開発</li> <li>展示会出展による製品・活動等のPR</li> </ul>	
<p><b>商標登録</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「岡谷シルク」の製品やサービスについて、地域団体商標登録を目指す</li> <li>「岡谷シルク」製品等の認定</li> </ul>	

18

「岡谷シルク」推進事業

岡谷シルク推進事業は、地域の人たちに支えられています。

**連携協定締結式**

- 諏訪信用金庫
- 岡谷商工会議所
- 岡谷市

三者により「岡谷シルク」を活かした地域活性化に向け連携協定を締結



19

オール岡谷産シルクの製品開発 [第1弾：風呂敷]

日本の伝統文化を岡谷の誇りに

**手織り『風呂敷』開発**

製品開発

岡谷ならではのストーリー性（シルク岡谷の歴史・文化）



お土産を手に、故郷へ帰省する工女さん

宮坂製糸所での機織作業（諏訪式機織機）

20

オール岡谷産シルクの製品開発 [第1弾：風呂敷]

**風呂敷の特徴**




祝 御成人

令和四年吉日

21

「岡谷シルク」推進事業「第1弾：風呂敷」

- 5. オール岡谷産シルクを活用した製品開発事業
- 実需から製品化まで市内で完結できる環境を生かした絹製品の開発を行う



岡谷産絹から出来上がった糸をワーキンググループで確認

ワーキンググループによる「風呂敷」製作検討の様子

「岡谷シルク」推進事業「第1弾：風呂敷」

- 5. オール岡谷産シルクを活用した製品開発事業
- 実需から製品化まで市内で完結できる環境を生かした絹製品の開発を行う



岡谷絹工房：手織りによる「風呂敷」製作風景

「岡谷シルク」推進事業

- 5. オール岡谷産シルクを活用した製品開発事業
- 実需から製品化まで市内で完結できる環境を生かした絹製品の開発を行う

オール岡谷産シルク「第1弾：風呂敷」完成！



完成した3種類の風呂敷

オール岡谷産シルク「風呂敷」完成及び贈呈式の様子

「岡谷シルク」推進事業

- 教育プログラムの開発・提供
- ①シルク岡谷次世代担い手育成プログラム推進事業
- ②博物館版教育プログラム事業
- ③5 蔵共通遊学施設学芸員プログラム開発事業

岡谷のシルク産業の将来を支える人材を育成するための教育プログラム  
三沢区民農園の桑園にて体験研修



岡谷産絹を宮坂製糸所で糸取り体験  
蚕の飼育体験  
給桑（桑の葉を蚕に）を参加者で体験

「岡谷シルク」推進事業

- 教育プログラムの開発・提供
- ①シルク岡谷次世代担い手育成プログラム推進事業
- ②博物館版教育プログラム事業
- ③5 蔵共通遊学施設学芸員プログラム開発事業

施設を巡り、歴史や文化、見どころを楽しみながら学べる教育プログラムを5館を担当する学芸員が協力して開発！



イルフ美術館

岡谷蚕糸博物館

旧林家住宅

「岡谷シルク」推進事業

- 教育プログラムの開発・提供
- ①シルク岡谷次世代担い手育成プログラム推進事業
- ②博物館版教育プログラム事業
- ③5 蔵共通遊学施設学芸員プログラム開発事業

5つの感覚「五感」を使って5つの施設「5館」を巡る「ごかんノート」完成

子供たちが楽しく学べる「アイテム」を考案しました！



「岡谷シルク」推進事業

- 蚕蚕体験事業
- 市職員を対象に三沢区民農園での養蚕体験も実施。今後は市民向けに実施予定。真綿づくりから製品にするワークショップを追加して実施。

市職員の蚕蚕体験



汗をながした体験後、記念の一枚！

「岡谷シルク」推進事業

- 滞在型ワークショップ事業
- 岡谷市に短期滞在して観光も楽しみながら岡谷絹工房で絹製品づくりを体験してもらうプログラム



世界に一つだけのオリジナルストールが作れます！

「岡谷シルク」推進事業

まちあるき事業

- 市内の製糸関連遺産などの歴史スポットを散策してもらい、まちなか観光の振興を図る。

ブラおかや歴史探偵団 製糸関連施設を巡る動画を製作



今井岡谷市長と地域おこし協力隊 今井家住宅前

30

「岡谷シルク」推進事業

まちあるき事業

- 市内の製糸関連遺産などの歴史スポットを散策してもらい、まちなか観光の振興を図る。

近代化産業遺産東回廊めぐり



旧山上宮坂製糸所



旧岡谷市役所庁舎

31

「岡谷シルク」推進事業

まちあるき事業

- 市内の製糸関連遺産などの歴史スポットを散策してもらい、まちなか観光の振興を図る。

蚕玉さままちあるきマップ製作




蚕玉様（こだまさま）石碑  
岡谷十五社神社（岡谷区）

32

「岡谷シルク」推進事業

アーティスト・イン・レジデンス事業

- アーティストを招聘し、一定期間の滞在活動を支援し、岡谷市と「岡谷シルク」の普及を図る。

美術系大学・服飾系専門学校等によるシルク関係作品の開発活動



33

「岡谷シルク」推進事業

シルク関連イベント事業

- 各種シルク関連イベントの補助

シルクフェアinおかや

毎年「4月29日」は「シルクの日」

シルクフェアinおかやの様子



プレシルクフェアを開催



34

「岡谷シルク」推進事業

シルクPR展示会出展事業

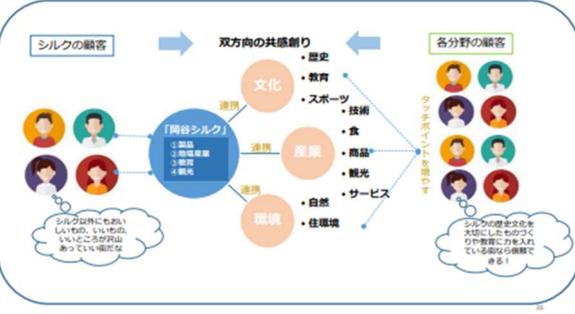
- 前野展、中野展などの展示会に出展し、岡谷市と「岡谷シルク」の製品、サービス、取り組みの認知度向上を図る。



35

「岡谷シルク」推進事業 戦略イメージ

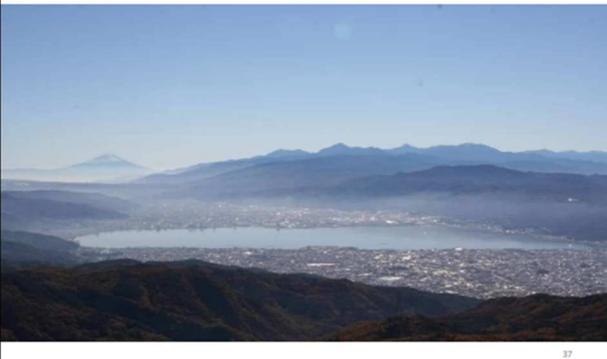
- 「食、歴史・住環境、産業、商品・サービス、技術」などの他分野とシルクとの接点を生み・増やすことで各分野の顧客と双方向の共感創り、岡谷＝シルクというイメージをまち全体で築き上げる。
- 岡谷市のもつ様々な資産を組み合わせ、岡谷ならではの体験価値を提供し、地域外からの交流・関係人口を増やす。



36

諏訪地域全体の更なる発展を目指して

岡谷ブランドである「岡谷シルク」を通じて多くの人を呼び込み、諏訪地域全体の観光の発展にも繋がっていきます。



37



ご清聴いただき、ありがとうございました。

## ニコニコボックス

- 林広一郎 今月は創業月です。よろしくお願ひいたします。
- 山岸邦太郎 創業月です。
- 瀬戸雅三 税理士法人を設立して16年になります。頑張ります。
- 小口 隆 創業73年、1年1年しっかり頑張っていきたいと思ひます。
- 今井康善 創業123年を迎えました。これからもお客様のために頑張ります。
- 小宮山英利 1月15日に創立113年を迎えました。これからもよろしくお願ひします。
- 大滝祐吉 3日で創業35周年を迎えました。お陰様でありありがとうございます。これからもよろしくお願ひ申し上げます。
- 今井康善・牛山幸一・江黒寛文・太田博久・大滝祐吉・大橋正明・小口 隆・小口泰史・小口裕司・尾関秀雄・笠原新太郎・上條英雄・北澤洋之介・小宮山英利・瀬戸雅三・高木克彦・竹村一幸・中村文明・西澤 賢・濱 毅・濱 俊弘・林 裕彦・宮坂晃介・宮坂 伸・守屋麻里・矢島 貴・矢島雄一・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫・小口 功 本日の卓話「岡谷シルクと地域おこし協力隊の活動について」です。よろしくお願ひいたします。

## 出席報告

会員数50名、出席者37名、  
出席率74.0%

Rotary



2021-2022年度RIテーマ  
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
SERVE TO CHANGE LIVES



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために